

エアリィ

Association for International Relations in Yamagata

2021年12月

vol. 96



講義の様子



模擬避難所での外国人への聞き取りの様子



外国出身参加者の皆さま



大雨災害を想定し、外国人住民への支援について実践も交えて 災害時外国人支援セミナーを開催!

11月6日に天童南部公民館で災害時外国人支援セミナーが行われ、支援者、外国人住民21名が参加しました。

講師に(一財)自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザーの松本義弘氏をお招きし、外国人に伝わりやすいとされる「やさしい日本語」の必要性と作り方を学び、行政機関等が発信する災害情報を多言語に翻訳して外国人に情報を発信する「災害時多言語支援センター」の設置・運営訓練を行い、さらに被災した外国人住民を想定しての要望の聞き取り

も行いました。

また、JICA山形デスクの小野氏より「避難所における文化的配慮について」と題し宗教や食に関してご説明いただき非常食の試食会も行いました。

参加者からは「貴重な体験だった」「内容は難しいが、先生の説明が分かりやすく良かった」「このような訓練は必要だ」と声をいただきました。

今回、ご協力いただいた天童市国際交流協会、天童市危機管理室、天童市社会福祉協議会、JICA東北の皆さまにも感謝申し上げます。ありがとうございました。

「山形で働く外国人」



中国江西省出身



楽星(らく・せい)さん

地域おこし協力隊員として白鷹町で働いている、
中国江西省出身の楽星(らく・せい)さんにインタビューを行いました。

■ どうして地域おこし協力隊員になろうと思ったんですか？

私は東北大学博士課程の学生なのですが、隣の研究室にいた中国人の先輩が白鷹町の地域おこし協力隊員だったんです。後任を探しているという話を聞いて、詳しい話を聞いてみたら興味がわいて。それで昨年6月に白鷹町へ来ました。仙台では留学生とのつきあいが多かったのですが、こちらに来て地元の方と交流をしたいと思います。

■ 白鷹町ではどのような活動をされているんですか？

在住中国人を対象に、日本語を教えたり、交流イベントの企画をしたりしています。もっと在住中国人が日本人と触れ合う機会があるといいと思っています。また日本人を

対象に中国語講座や中国文化サロンを実施しています。中国人に向け、白鷹町の観光促進活動も行っています。

■ 白鷹町での生活はどのような感じですか？

仙台で暮らしていた時に比べて、近所の方々との関係が深いと思います。皆さん優しく、よく野菜やお惣菜を分けてもらったりしていますし、除雪も助けてもらっています。それにここではとても辛い唐辛子が手に入るので、中華料理を自炊するのに役立っています。ただ、もっとレストランやジムなどがあると嬉しいです。

■ コロナで一時帰国も難しいですが、大丈夫ですか？

家で猫を飼っていて、毎日本当に癒されています。猫がいなかったらとても大変だったと思います。白鷹町から離れるときも一緒に連れていくつもりです。責任がありますからね。



県内国際交流関係団体へのインタビュー



山形カザフスタン友好協会



副会長 加藤 明子さん

■ 山形カザフスタン友好協会とはどのような団体ですか？

カザフスタン共和国と聞いてすぐに場所が思い浮かぶ人は少ないかもしれませんが、中央アジアに広大な面積を持つ資源大国なのですが、日本との交流はあまり活発ではありません。そこで、カザフの産業や文化に興味を持つ酒田市の経済人有志が2019年に訪問団を結成。現地で民間レベルの交流を深めてきたことから、当協会を2020年3月に設立し、今後も活動を進めていくことになりました。

■ 山形カザフスタン友好協会はどんな活動をしていますか？

当協会の主な活動は年に一度開催する「カザフフェスタinさかた!」です。実はカザフスタンには親日家が多く、コロナ禍以前は日本にも多くの留学生が訪れていました。いつか留学生たちを酒田に招いて交流を深めたいと思っていますが、現在は写真パネルや民芸品などを展示してカザフスタンについて広く周知をしています。今年度はオンラインでカザフと酒田を繋いで学生や経済人との交流会を行いました。

■ どんな気持ちや考えで活動しているのですか？

カザフスタンの人たちは姿・形が日本人と驚くほどよく似ていますが、生活環境には大きな違いがあります。その異文化交流は私たちに様々な発見の機会を与えてくれるのではないのでしょうか。酒田を日本の玄関としてカザフの魅力を紹介し、将来的には文化交流や経済交流を活発に行うことができたら嬉しいです。

■ 誰でも山形カザフスタン友好協会の活動に参加することができますか？

中央アジアの文化や経済交流にご興味のある方はぜひ活動にご参加ください。





Korea



新CIR (国際交流員) の紹介

アンニョンハセヨ!

キム・ギョンハ

韓国の慶山 (キョンサン) 市出身、キム・ギョンハと申します。今年10月から山形県の国際交流員として勤めています。キョンサン市は山形と同じく

山がたくさんある地域です。しかし、周りに海がないので、雪はあまり降らないところが違います。海と山と一緒に共存している山形県に来ることができて嬉しいです。

大学で日本語を専攻し、東京に1年と新潟に2年ほど留学をしました。勉強をすればするほど日本はすごく魅力的な国と思いました。山形県は初めてですが、皆様に韓国の言語や文化など様々な魅力を伝えるように頑張ります。また、ここにいる間、山形の魅力をたくさん楽しみたいと思います。

よろしくお祈りします。



America



Hey there!

シアン・ライト

アメリカのジョージア州の、アトランタ市出身のシアン・ライトです!

日本の音楽をきっかけに高校時代から日本文化に興味を持ち、大学の時に日本語を専攻して、早稲田大学でも一年間留学をしました。

そして、4年前にはALTの先生としてJETプログラムに参加しました。場所は岐阜県の山の奥の学校でした。

11月からは山形県国際交流協会で国際交流員として働くことになりました。とても楽しみにしています!

留学をしてから多文化に興味を持ちました。私はその興味を皆さんと共有し、多文化に親しみを持っていただけるような活動に携わりたいです。講座やイベントでは山形県民のみなさんがまだ知らないアメリカの文化や歴史を楽しく面白く紹介したいと思います!どうぞよろしくお祈りします!

創立30周年記念講演会を開催しました

9月17日、ホテルメトロポリタン山形において、創立30周年記念講演会を開催しました。NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会代表理事の土井佳彦氏を講師にお招きし、「これからの地方における多文化共生社会の形成に向けて」と題するご講演をいただきました。

当日は会場いっぱいの参加者においでいただき、多文化共生への関心の高さがうかがわれ、多文化共生の現状と背景、国・自治体・国際交流協会・経済界による取組み、各地の先進・好事例などについて理解を深めることができました。

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていく、「多文化共生」の事業を、協会として今後とも進めていきたいと思ひます。



ちよこつと JICA

国際協力推進員コーナー

【青年海外協力隊経験者に向けた やさしい日本語研修会】

山形県国際交流協会に協力を依頼して、山形県内の青年海外協力隊経験者を対象に、「やさしい日本語」研修会を開催しました。「やさしい日本語」とは普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のことで、「やさしい」には、「優しい」と「易しい」の2つの意味が込められているそうです。参加者からは「地元にながら、外国籍の人と関われる機会にもつながるのかなと感じたから参加しました。』『実際に例文や単語をやさしい日本語に変えてみたりする時間も楽しかったです。』といった感想をいただいています。今後は、やさしい日本語を実際に使って県内在住外国人の方とやり取りする機会を作っていけたらと考えています。



★JICAでは学校現場における開発教育を推進する事業を行っています。お気軽にお問合せください。



JICA 山形デスク

☎023-646-6267

✉ jicadpd-desk-yamagataken@jica.go.jp

YBC山形放送 県政広報番組やまがたサンデー5

「みんなでつくる多文化共生社会」

～AIRYの活動が取り上げられました～

10月17日に放送された県政広報番組「やまがたサンデー5」では、国籍や文化の違いを理解し尊重しながら地域で共に生きていく「多文化共生」をテーマに、県内企業で働くベトナム人がAIRY日本語教室で勉強する様子が紹介されました。またアナウンサーが、外国語を話さなくても外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」の使い方を体験しました。

番組の冒頭では、機関誌前号「山形で働く外国人」でご紹介した、ネパール出身のカトリさんも登場しています。YouTubeでこの放送を見ることができますので、是非以下のQRコードからアクセスしてみてください。

番組YouTube



AIRYのHPが新しくなりました!

創立30周年に合わせて協会HPをリニューアルしました! 外国人・日本人ともに見やすく分かりやすいよう構成を工夫したほか、スマートフォンやタブレットでもきれいに表示されるデザインとなっています。

これからも国際交流・多文化共生に関わる有用な情報を発信していきますので、是非協会サイトを訪問してください。また、協会ではFacebookやTwitter、Instagramによる広報も行っております。いいね!やシェアしていただくと嬉しいです!



山形県国際交流センター 施設案内

開館時間 9:30~18:00

休館日 月曜、祝日、年末年始

NEW <仙台出入国在留管理局の専門相談会>
今後偶数月の第3金曜日開催予定

- ① 12月17日(金) 10:00~12:00
- ② 2月18日(金) 10:00~12:00

山形市城南町一丁目1-1
霞城セントラル 2階
TEL : 023-647-2560
FAX : 023-646-8860

<交流サロン>

日本語・外国語の新聞、国際関係資料の閲覧、インターネット接続パソコンの利用などができます。図書コーナーでは、英語、中国語、韓国・朝鮮語など、外国語の書籍の貸出も行ってまいります。お気軽にご利用ください。

<企業向け外国人相談窓口>

「外国人を雇用する際の手続きについて教えてほしい」「技能実習生の受け入れ手続きについて知りたい」など企業からの悩みに対応しています。

TEL 023-645-7600
FAX 023-646-8860
Mail kigyosodan@airyamagata.org
相談日 火~金曜日 10:00~16:00

県行政書士会
対応相談会
予約不要 毎月第2水曜日
13:00~16:00



<研修室・ボランティア室>

国際交流・国際協力に関する会議、研修、イベント等に無料でお貸しします。研修室の利用は予約が必要です。

利用の際は、新型コロナウイルス感染防止対策を取っていただくようお願いしております。

<外国人相談窓口>

県内に住んでいる外国人やそのご家族のための相談窓口を開設しています。日常での困りごと、在留資格など様々な手続きに関する相談を、日本語と外国語で受け付けています。

TEL 023-646-8861
Mail soudan@airyamagata.org

言語	曜日	相談受付時間
英語・日本語	火~土	10:00~17:00
中国語	火・金	10:00~14:00
ポルトガル語	水	
韓国・朝鮮語	木・土	
タガログ語	金	
ベトナム語	第2・4土	

<外国人向け法律相談>

予約必要 毎月第4金曜日
10:00~12:00

編集
集
後
記

この度AIRYのHPをリニューアルしましたが、考えてみたら10年以上も前、海外で同じような仕事をしたことを思い出しました。青年海外協力隊に参加してアフリカのウガンダで働いていた時、配属先だった県庁のHPをリニューアルしたのです。予算を要求して、業者と交渉して、サイトの構成を起案して、県内各所を取材して…。この前県庁のHPを覗いてみたら、私が撮影した写真数枚がまだトップページに貼ってあり、懐かしく感じました。日本にいても協力隊時代の活動成果にすぐアクセスできるなんて、素敵ですね。(日野)

